

編集後記

(57巻 第7号 2011年7月)

震災復興が遅れていることや原発問題がいつこうに解決されないせいかもしれないが、どうも最近、明るい気分になれない。朝起きても、何か体が重く憂鬱に感じるのは私だけだろうか。こんな時には、生活の中に小さな喜びを見つける工夫が必要かもしれない。女性は、おしゃれやおいしい食事に小さな楽しみを見つけるのが上手である。われわれ男性、特に男性医師の小さな楽しみとは何だろう。皆さんが工夫されている日常生活での楽しみを見つけ方を教えてほしい。

あまりにも気分が良くないので、先日家内に「なにか元気の出るようなネクタイを買ってきてほしい」と頼んだら、父の日の贈り物バーゲンでさっそくピンクのネクタイを選んできてくれた。これまでは少し暗い色調のネクタイを好んでしていたので、ちょっと照れくさい気がしたが、つけてみるとなかなか気分が良い。人間とはこんなもんである。私と同じように気分の晴れない皆さんの参考になればと書かせてもらった次第である。

(小川 修)